

11月16日、神戸市シルバーカレッジが主催する“もったいない”シンポジウムがカレッジホールで開催されました。このシンポジウムは毎年環境問題等をテーマにおこなわれるもので、今年で8回目になります。

グループわも共催者に名を連ね、とくに今回は、グループわ環境部会の「チームたんすの肥やし」「フードドライブ」がパネリストとして参加しました。

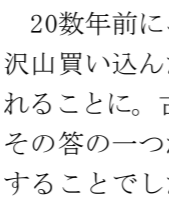
今回のテーマは“もったいない”。日本の食糧自給率が40%以下にもかかわらず、まだ食べられる食品が年間630万トンも捨てられている現実を学び、私たちにできることは何か?! 考えようという趣旨です。



パネラーのみなさん



今回のシンポジウムでは、パネリストの皆さんの活動内容やそこで感じられていること、活動上の課題等を話していただき、神戸の街でもったいない活動を広げていくうえで何が必要なか、皆で考えていきたいと思います。(コーディネーター 北尾 進氏)



20数年前にユニクロが近くにでき、嬉しくて沢山買い込んだのですが、すぐにタンスがあふれることに。古着を生かすにはどうすればいい? その答の一つが、チャリティーショップに寄付することでした。そして、グループで古着回収の取組みを始めました。(藤本明美氏)



高月先生のお話の通り、食品ロスが大問題です。各家庭で使い切れなかった食品を持ち寄り、まとめて地域の施設などに届ける活動を始めました。フードドライブです。KSCでも毎月、1-10日を回収期間として取り組んでいます。皆様のご協力をお願いします。(上利哲裕氏)

第1部 基調講演

「廃貴物」の意味は「もったいない」

講師・京エコロジーセンター館長 高月 紘氏

→次ページに講演要旨

第2部 パネルディスカッション

パネリスト

藤本明美氏「チームたんすの肥やし」代表

上利哲裕氏「フードドライブ」リーダー

谷平ゆかり氏「ポートピアグリーンチーム」代表

中村恵子氏「ゴミ減らし通信舎」世話人

橋本 司氏 神戸市環境局 環境政策部

資源循環政策課長

コーディネーター

北尾 進氏 神戸市シルバーカレッジ講師

グループわ 1月~3月のイベント

開催場所	開催日	グループ	連絡先
垂水区柏台老人会	1/ 5 (金)	一寸奉仕	柏台老人会 752-8186
きらくえん	1/ 5 (金)	わらい届け隊	きらくえん 747-3001
	1/17 (水)	SCハワイアンズ	
	2/ 2 (金)	楽遊クラブ銀雅	
	2/21 (水)	手話ソング同好会	
	3/ 2 (金)	コーラス・タルミ	
3/21 (水)	三輪車		
水の科学博物館	1/ 6 (土)	初釜/和庵	水の科学博物館 351-4488
透鹿園	1/21 (日)	マジッククラブ	透鹿園 961-2335
	2/18 (日)	楽遊クラブ銀雅	
しあわせの村体育館	3/18 (日)	UDフェア	こうべ市民福祉振興協会 743-8193



\*)UDフェア=こうべユニバーサルデザインフェア:年齢、性、国籍、身体状況等の違いを越えて、互いに多様性を認め合い、全ての人が力を発揮して支え合うユニバーサル社会の実現に向け、ユニバーサルデザインの推進が課題。この考え方を伝え、成果発表し、交流するフェア。

第1部 基調講演 「廃貴物」の意味は「もったいない」 (要旨)

京エコロジーセンター館長 高月 紘氏



私は、“High Moon”というペンネームでマンガを描いてきましたが、漫画家だけで食べていくのは厳しいので、大学の先生をしながらマンガも描くということでやってきました。大学では、廃棄物の研究をしてきましたが、調べると、私たちは毎日の生活の中で貴いものを捨てているのではないか!これはもったいない!という意味で、廃棄物を廃貴と表現しマンガ連載してきました。

家庭ごみ細組成調査から

50世帯ほどの家庭ごみを細かく分類して重量(湿重量、乾重量)、容積を調べますと、台所ゴミでは発泡スチロール製トレイなど、容器包装材が目立ちます。重さ(湿重量)では2割強ですが、容積では台所ゴミ全体の6割を超えます。ごみ処理・運搬では容積がポイントですので、これは影響が大きい。

“賞味期限がごみ起源”

食材ゴミを食べ残しと調理クズに分類しますと、まだ食べられるのに捨てられているものが目立ちます。調理クズは4割なのに、食べ残しが6割を占めます。この中には、買ったままの状態の物が結構な割合で含まれています。もちろん調理するつもりで買って、冷蔵庫に入れている間に賞味期限が切れたのでやむなく廃棄という、もったいない話です。



※賞味:自衛食品の中には賞味期限の表示が記されています

中食の増加が拍車

内食、中食、外食という言葉をご存知ですか。内食は家庭で調理して食べる、外食はレストランや食堂で食べる、中食というのは工場で作られたものをスーパーやコンビニで買って食べるというものです。この中食が増えています。



「もう食べられないよう〜」 High Moon

買って食べて包装材を捨てる。スーパーやコンビニで

高月先生の講演動画を見る→ネット検索「グループわ」→「イベント動画」

売れ残ったらそのまま捨てる。これはあまりにももったいないということで、豚の餌にでもできないかと考えますが、選り分けの時間やコストを考えると無理ということになっています。

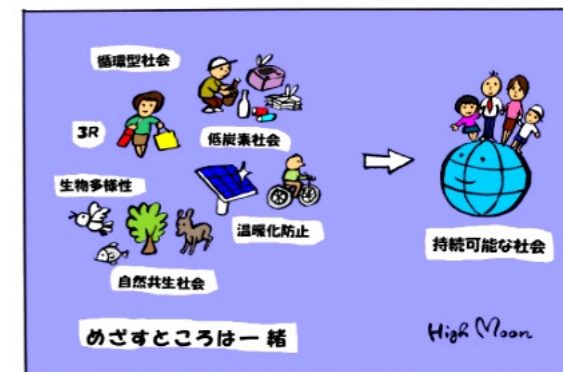
京都市のごみ減量取り組み

京都ではごみ減量のために、ごみ減量推進会議を設置して取り組んでいます。家庭用ごみ処理費用は、1袋約200円かかっており、ほとんど税金で処理していますが、一部有料化ということで、1袋当たり1円計算でゴミ袋を販売しています。30%袋が主流ですが、1枚30円です。京都市のH28年度のごみの量は、ピークのH12年度からほぼ半分に、劇的に減りました。

編集部注	・京都市ごみ総量	H12/81.5万トン→H28/41.7万トン	49%減
	・神戸市ごみ総量	H12/103.3万トン→H28/61.1万トン	40%減

ごみ排出を減らす! 2R型ライフスタイルへ

これまでではごみを再資源化しようとしてリサイクルに目が向いていましたが、今、その他の2R(リデュース、リユース)に目が向いています。ごみを出さないリデュース、捨てる前に再使用するリユースです。その推進のために、ゴミ袋有料化、レジ袋有料化、分別義務化、食品ロス削減などの取り組みがあります。



最後に、環境問題に関心をお持ちの皆さん、一緒に考え、行動していきましょう。

豊かなライフスタイルとは?  
「物」持ちから「時間」持ちへ  
シンプルライフ  
持続可能な社会とは?

高月先生のマンガは、ネットで見るができます。  
→ネット検索「ハイムーン工房」

